



**株式会社 ファルマ**

弘前市北横町 19-1  
Tel 0172-37-6016(代)  
発行：編集委員会  
印刷：小野印刷  
■ 第 201 号 ■

**すべての人に充実した社会保障を**

ファルマ弘前薬局 中西 茉季

9月25日(木) 日比谷野外音楽堂で行われた「9・25のちまもる総行動」に藤代薬局の三上菜美さんと一緒に参加し、現地では約2,200人が参加しました。日比谷野外音楽堂は、老朽化のため工事を行うということで、建て替え前最後の集会となりました。

主催者挨拶では、日本医師連の佐々木委員長より「軍事情が過去最高になる一方で医療・社会保障は抑制され続け、医療機関・介護事業所も経営が立ち行かなくなり、倒産も過去最多となっている。私たち一人ひとりが声を上げ、行

看護現場、医師・歯科医師より現場の声を直接聞くことができました。その後、集会アピールを確認し、日比谷野外音楽堂の隣にある厚生労働省に向かつてシュプレヒコールを行いました。集会終了後は、銀座でパレードが行われました。社会保障や暮らしのあり方について改めて考える機会となりました。現在の日本社会では、物価高・医療や介護の不安など、生活に直結する問題が山積しています。医療や介護従事者からは、人手不足と過重労働の中で懸命に支えている実態が語られ、制度の不十分さが浮き彫りとなっています。社会保



参加した中西さん(左)と三上さん

障は一部の人のためではなく、すべての人に開ける生活の土台です。今回の行動を通じて、私たち一人ひとりが安心して未来のために声を上げることの大切さを学びました。

**現場の声を届けることの大切さ**

黒石薬局 栗田 沙緒莉

9月20日(土)「第52回中央社保学校 from 佐賀」の学習会が現地とZOOMで行われました。現地とZOOMを合わせて約300人が集まり、学習講演として社会保障について学び、九州地区での社会保障運動の取り組みについての報告がありました。

はじめに、神戸大学の井口克郎教授より「社会保障入門く分断を乗り越え手をつなごう」と題して、社会保障入門テキストを基に学習しました。資本主義社会における社会保障の意義を改めて考える機会となり、資本主義経済の中では格差を生み出す階級社会であり、労働者同士の分断を進める背景があることを知り、また、「すべての人は健康で文化的な生活」を送る権利があり、それを保障する社会

**被爆体験を後世に伝えていく**

ファルマ弘前薬局 主任補佐 村上 昌

9月12日(金) 健生病院会議棟で2025年原水爆禁止世界大会報告会が開催されました。約40人が参加し開会式挨拶から始まり、下山海大医師、村上蘭医師、そしてファルマ弘前薬局の古川碧人さんより代表報告がありました。

3名ともに当日の世界大会会場の雰囲気や資料館・平和展



報告する古川さん(写真中央)

また、現場では被爆者の当時の悲惨な状況のお話を聴き、その方も当時は乳幼児であったとお話があり、被爆の記憶がある方々が高齢で少なくなっている状況のため、このように話を聞いた自分たちが後世に伝えていかなければならないと強く感じました。

**学習と交流を深めた薬局活動交流会**

取締役薬剤師部長・ファルマ弘前薬局 薬局長 相馬 渉

9月27日(土) 薬局活動交流会集会がアトホテル青森で開催され、48名の参加がありました。今回は例年行っている各職場からの報告形式ではなく、基本に立ち返り民医連副作用モニターのこれまでの経過やその意義そして新薬評価の目的について参加者全体で学びを深めました。講師には全日本民医連薬剤師部医薬品評価委員長の中村氏をお招きし、医薬品の評価方法についてご講演いただきました。

中村氏は、医薬品メーカーの情報を鵜呑みにせず、常に批判的に吟味する姿勢の重要性が強調されました。また、グループ

ワークを通じて、薬剤師同士が意見交換を行いながら医薬品評価に取り組みことの大切さを再確認し、仲間とともに切磋琢磨していく意義について深く理解を得ることができました。

第2部では、新入職員歓迎会が行われました。

今年度は7名の薬剤師が新たに仲間として加わりました。歓迎会では、先輩薬剤師からの温かいエールに続き、新入職員一人ひとりがパワーポイントを使って自己紹介を行いました。発表内容からは、それぞれの人柄や想いがよく伝わり、今後は非常に楽しみな人材であること



講師の中村氏(左奥)

最後に助言者として参加した京都府立大学の村田隆史准教授が、時間も資金も人材も限られている中で、何を選択していくのか、何ができるのかを考えていくことが大切で、その過程自体に意味があるものという言葉をお聞き、ひとりひとりで訴えることは難しいですが団体として訴え呼びかけ続けることで、変えられることもあると感じました。



ファルマ弘前薬局会場での様子

# 小学生のわたし

ファルマ弘前薬局 薬剤師 下山 蒼生

小学生の頃のわたしは、毎年家族3人で函館旅行に行くのを楽しみにしていました。この写真は17年前の函館旅行中の私です。我ながらいい笑顔です。フェリーで固い枕で寝ながら海を渡る年があれば、新幹線であつという間に着く年もあり、移動の時間も含めてわくわくが止まらなかったのを覚えています。泊まる場所もその年ごとに違っていて、湯の川の温泉旅館でのんびり過ごしたり、駅前のホテルで観光を楽しんだり、どこに泊まっても楽しかったのを覚えています。

朝は毎年恒例の函館朝市です。井ぶりから溢れんばかりの海鮮を食べるのが一番の楽しみでした。少し気の強い客引きのおじちゃんおばちゃんに怯えながらもお店を毎年選んでいた記憶があります。お昼はラッキーピエロでハンバーガーを頬張り、夜は函館山で夜景を見たあと宿で温泉に入ります。小学生の頃からずっと函館が大好きで、あのときの景色や空気のおいしさは今でも鮮明に覚えています。社会人になった今、なかなか家族揃って旅行に行く機会は減りましたが、いつかまた落ち着いたら、あの頃のように家族みんなで函館を訪れたいです。



家族旅行でいい笑顔

# 薬害を繰り返さないために

ファルマ弘前薬局 薬剤師 猪股 愛恵



8月26日(火)薬害根絶デー2025民医連学習交流集會に参加し、薬害が決して過去の出来事ではなく、現在も私たちに問いかけ続けている問題だと実感しました。被害者の方々の体験を直接聞くことで、数字や資料だけでは伝わらない痛みや苦しみを、そして「二度と同じこと

を繰り返さないでほしい」という強い願いを受け止めることができました。また、薬害を防ぐためには、製薬企業や行政への責任追求にとどまらず、医療従事者一人ひとりが日常の業務の中で患者様の声に耳を傾け、安全性を最優先に考える姿勢は不可欠だと学びました。薬剤師として、正確な情報提供と患者様に寄り添う姿勢をもち続けることが薬害根絶につながると思います。

たし、今の学習交流で得た学びを今後の業務に活かして、薬害を繰り返さない社会づくりに関わっていきたく思います。

## 写真紹介

### 浪岡地区クラブへ出前講座

8月27日(水)青森市立杉高児童館にて「薬の正しい飲み方とサプリメントの基礎知識」をテーマにファルマ浪岡薬局の高橋薬局長が講演しました。大杉地区民生委員・杉沢長寿クラブ・福田なごやかクラブの共催による地域合同開催の学習会です。参加者からは服薬のタイミングなど具体的な質問も多く、活発な交流の場となりました。



たくさんの質問がありました

### 年金者組合へ出前講座

8月29日(金)弘前年金者組合女性支部主催で「介護保険のあれこれ～現状と課題」と題した出前講座を開催しました。居宅介護支援事業所ファルマの伊勢主任が介護保険制度の理念や2024年改定、訪問介護の実態と人材不足を解説。参加者からも意見が寄せられ、地域での支え合いの重要性を共有する場となりました。



大変わかりやすかったと好評でした

### 黒石支部へ出前講座(健康まつり)

9月7日(日)津軽保健生活協同組合黒石支部主催の「健康まつり」にて、ファルマ弘前薬局の健康運動アドバイザー中西さんが健康体操の講師を担当しました。全身を使ったストレッチやじゃんけんゲームを取り入れ、参加者と和やかに体を動かし、地域に根差した薬局活動として健康づくりを支える機会となりました。



健康体操を指導する中西さん(写真中央)

### サイバーセキュリティ学習会

9月11日(木)、17日(水)に本部の水木課長補佐を講師に、サイバーセキュリティ学習会が行われました。情報漏洩リスクやそれによる影響、今後気を付けるべきことなどについて学びました。小さなミスの積み重ねが重大な事故に繋がることや一人ひとりのモラルが大切だと感じました。学んだことを日頃の業務で意識していくことが大事だと再確認しました。



真剣に耳を傾ける参加者の様子

### りんご広場集会和パレード

9月23日(火)弘前駅前りんご広場で憲法9条守れ!戦争法廃止集会和パレードが開催され、ファルマからは5名が参加しました。10年前の9月19日に戦争法が強行採決され、反対行動は今回で89回目となりました。



暑い中参加しました!

### 新しい散剤分包機の導入

9月27日(土)弘前調剤センターの散剤分包機の入れ替えを行いました。散剤分包機は散薬を正確に1回分量に小分けにするとともに重要な機械です。これまで20年間も稼働してくれた現行機に変わり、新しい分包機が迅速かつ安全な調剤を助けてくれるでしょう。



散剤分包機の最新鋭機

### 弘前暮らしの保健室へ出前講座

10月4日(土)弘前暮らしの保健室主催の出前講座が清水交流センターで開催されました。居宅介護支援事業所ファルマの伊勢主任が「最近のOTC薬の現状と課題」をテーマに講座を実施しました。2024年度改定による報酬引き下げや人材不足の実態、青森県・弘前市の地域課題を分析し、制度の限界と地域での持続的支援のあり方をお話ししました。



熱心にお話を聞いてくれました

### 津軽保健生活協同組合健康づくり委員会へ出前講座

10月6日(月)津軽保健生活協同組合健康づくり委員会主催で、ファルマ弘前薬局の葛西副薬局長が「最近のOTC薬の事情」をテーマに講演しました。医療費抑制策としてOTC類似薬の保険適用除外が検討される中、患者負担や受診控えの懸念、セルフメディケーション税制の活用などを解説しました。



講師を務めた葛西副薬局長